

問1 徳川家康が1603年に征夷大将軍となり、江戸幕府をひらいた歴史的背景とその意義について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高山公立入試 類似)

1. 朝廷から武家政権の首長としての正統性を認められ、全国の諸大名を統制する体制を整えた
2. 検地や刀狩を全国規模で実施することで兵農分離を徹底し、身分制度を確立させた
3. キリスト教の布教を禁止するために鎖国を完成させ、長崎の出島のみで貿易を行う制限を設けた
4. 建武の新政に反発する武士をまとめ上げ、北朝と南朝の対立を解消して国内を統一した

問2 江戸時代中期の文化において、近松門左衛門や市川団十郎といった人物の活躍により、町人の中で爆発的な人気を博した伝統芸能の説明として、当時の社会背景を踏まえたものを選びなさい。 (2017年 岡山公立入試 類似)

1. 儒学によって社会の秩序が重んじられる一方で、町人の日常生活や義理人情を描いた歌舞伎や人形浄瑠璃が発展した。
2. 松平定信による改革の影響で質素儉約が徹底されたため、武士のみが鑑賞を許された能や狂言が中心であった。
3. 江戸の庶民の間で、浮世絵の多色刷りである錦絵や、社会を風刺した川柳が広く親しまれた。
4. 足利義満の時代に、禅宗の影響を強く受けた簡素で落ち着いた幽玄な芸能が確立された。

問3 江戸時代の対外関係において、対馬藩が果たした役割や状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)

1. 琉球王国を介して中国(明・清)の産品を幕府に運び、貿易の利益を得ていた。
2. 朝鮮半島に近い地理的条件を活かし、朝鮮通信使の案内や貿易の仲介を担った。
3. アイヌの人々との交易を独占的に行き、サケや昆布などの産品を全国へ流通させた。
4. 長崎の出島に設置されたオランダ商館を監視し、ヨーロッパの文化や情報の窓口となった。

問4 田沼意次の政治が終わりを迎え、彼が失脚する要因となった社会情勢について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2020年 佐賀公立入試 類似)

1. 浅間山の噴火や冷害による「天明のききん」が発生し、一揆や打ちこわしが全国に広がった
2. ペリーが率いるアメリカの艦隊が来航し、開国を認めたことに対する反対運動が激化した
3. 飢饉の最中に大塩平八郎が大坂で乱を起こし、幕府の無策に対する批判が最高潮に達した
4. 極端な動物愛護を命じた生類憐れみの令により、武士から庶民まで多くの人々が不満を抱いた

問5 江戸時代の大阪には堂島米市場のように、多くの武士や商人が集まり、米の価格安定や取引が活発に行われる幕府公認の市場が存在しました。このような商業の活発化を背景に、田沼意次が「株仲間」を奨励した主な目的として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 千葉公立入試 類似)

1. 商人の組織化を通じて流通を掌握し、そこから得られる税収によって幕府財政の改善を図るため
2. 問屋制家内工業を全国に普及させ、農村での工業製品の生産を幕府が直接管理するため
3. 武士の借金をすべて帳消しにすることで、疲弊した武士階級の生活を保護するため
4. 鎖国体制を強化するために、国内の商人が外国の商品を扱うことを厳格に禁止するため

問6 江戸幕府が琉球使節を江戸へ参府させた目的や背景として、当時の外交や政治の仕組みから考えて最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川公立入試 類似)

1. 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。
2. キリスト教の布教を許可する代わりに、琉球を通じてヨーロッパの最新兵器を独占的に輸入しようとしたため。
3. 薩摩藩の支配から琉球王国を独立させ、幕府の直轄領として管理するための事務的な手続きを行うため。
4. 琉球王国を仲介役として、当時は国交が断絶していた清(中国)の皇帝に親書を届けるルートを確認するため。

問7 江戸時代、河村瑞賢によって整備された、北陸地方や日本海沿岸の年貢米・特産物を、下関を経由して瀬戸内海から大阪へ運んだ海上輸送の経路を何と呼びますか。 (2017年 静岡公立入試 類似)

1. 西廻り航路
2. 東廻り航路
3. 南海道
4. 五街道

問8 江戸幕府は、ポルトガルなどの国々を排除していく一方で、ヨーロッパ諸国の中ではオランダに対してのみ、長崎での貿易を継続することを認めました。オランダが他のヨーロッパ諸国と異なり、幕府から貿易を許可された最大の理由として正しいものを選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. キリスト教の布教を目的とせず、貿易のみを行うことを幕府に約束したから
2. 徳川家康の外交顧問として、オランダ人が江戸城に常駐して政治を支えていたから
3. 島原・天草一揆の際に、幕府軍の側に立って反乱軍を攻撃するなどの協力をしたから
4. 生糸の輸出を独占しており、日本国内の衣類生産に不可欠な存在だったから

答え合わせ・解説

問1	答え 1 朝廷から武家政権の首長としての正統性を認められ、全国の諸大名を統制する体制を整えた	征夷大将軍という職位は、武士の頂点として全国の軍事権を握る正統な根拠となりました。家康はこれを利用して、各大名に忠誠を誓わせ、幕府と藩が土地と人民を支配する「幕藩体制」の礎を築きました。なお、兵農分離は豊臣秀吉、鎖国の完成は3代将軍徳川家光、南北朝の合一は足利義満の時代の出来事です。
問2	答え 1 儒学によって社会の秩序が重んじられる一方で、町人の日常生活や義理人情を描いた歌舞伎や人形浄瑠璃が発展した。	元禄文化の時期は、幕府が儒学を通じて身分秩序や礼儀を広めようとした時代でしたが、同時に町人たちが自分たちの価値観や感情を表現する場を求めました。近松門左衛門による人形浄瑠璃の脚本や、歌舞伎における市川団十郎（江戸）や坂田藤十郎（上方）の活躍は、当時の町人の生き生きとした姿を反映しています。選択肢にある江戸中心の文化や松平定信の時代は、後の時代の出来事です。
問3	答え 2 朝鮮半島に近い地理的条件を活かし、朝鮮通信使の案内や貿易の仲介を担った。	対馬藩は地理的に朝鮮半島と九州の間に位置していたことから、中世以来、朝鮮との関わりが深い地域でした。江戸幕府のもとでも、朝鮮との公式な外交や「釜山」に置かれた倭館での貿易を仲介する重要な役割を認められていました。他の選択肢にある琉球との関わりは薩摩藩、アイヌとの関わりは松前藩、出島の管理は幕府の直轄地である長崎が担当していました。
問4	答え 1 浅間山の噴火や冷害による「天明のききん」が発生し、一揆や打ちこわしが全国に広がった	田沼意次の時代、1780年代には浅間山の噴火や冷害が重なり、近世最大級の惨事といわれる「天明のききん」が発生しました。これにより深刻な食糧不足に陥った農村では一揆が、都市部では打ちこわしが多発しました。こうした社会不安に加え、役人の間で賄賂（わいろ）が横行しているという批判が高まったことや、後ろ盾であった将軍・徳川家治が亡くなったことで、田沼は反対派によって失脚に追い込まれました。
問5	答え 1 商人の組織化を通じて流通を掌握し、そこから得られる税収によって幕府財政の改善を図るため	田沼意次は、米の売買や物流を担う商人たちを「株仲間」として公認し、特権を与えることで商業活動を活発にさせました。その目的は、商人の経済力を利用して税（運上・冥加）を徴収し、慢性的な赤字状態にあった幕府の財政を再建することにあります。これは、質素儉約を重視した他の改革（享保の改革や寛政の改革）とは異なる、商業重視の画期的な政策でした。
問6	答え 1 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。	幕府は、琉球使節に対してあえて中国風の独自の服装を維持させたまま江戸まで行進させました。これにより、将軍が異国の王からも敬われる存在であることを民衆や諸大名に見せつけ、幕府の権力を正当化・強化する演出を行いました。
問7	答え 1 西廻り航路	江戸時代中期、経済の発展に伴い大量の物資を安く運ぶ必要が生じました。河村瑞賢は、日本海側から下関を経由して瀬戸内海を通り、当時の経済の中心地であった大阪へ至る「西廻り航路」を確立しました。これにより、北日本や北陸の物資が安定して供給されるようになりました。
問8	答え 1 キリスト教の布教を目的とせず、貿易のみを行うことを幕府に約束したから	江戸幕府は、キリスト教の教えが幕府の封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、布教活動を厳しく禁じました。ポルトガルやスペインなどのカトリック諸国は、貿易と布教を一体として進めていたため排除されましたが、プロテスタント諸国であるオランダは、布教を行わずに商業的な利益のみを追求する姿勢を示したため、長崎の出島での貿易継続が認められました。